

OHARA
MEMORIAL
FOUNDATION
since 1892

人を愛し、
病を究める



大原記念財団歌
[Make You Smile forever~笑顔を永遠に~]



一般財団法人
大原記念財団

笑顔でずっと!

暮らしのまんなかで“いのちを守る”

大原記念財団は
130年以上の長きにわたり、
地域に根付いた医療に取り組んできました。
「人を愛し、病を究める」という理念のもと、
患者さまを中心とした最良の医療を
積極的に探究し続けてきました。

私たちはこれからも、地域の皆さまに
寄り添う基幹病院として、
専門性を活かしつつ、地域の病院や診療所等と
連携しながら地域医療を支えていきます。

【大原記念財団理念】

人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために、
常に一歩先行く医療を探究し、優しさを持って
最善を尽くす医療を実践することにより、地域
から信頼される病院を目指します。

【看護部理念】

笑顔につなげる 優しい看護

私たちは、人間愛にもとづき、看護職としての
知識・技術を高め、患者さまが笑顔になれるよ
うホスピタリティあふれる看護を行います。



沿革

明治 25年 (1892)	1月 10日	大原一・原有隣が福島町通十一丁目で共同開業
大正 14年 (1925)	3月 12日	大原八郎 (第2代院長) が「野兔病」発見
昭和 27年 (1952)	12月 16日	財団法人大原綜合病院設立
昭和 35年 (1960)	7月 1日	清水分院 (清水病院) 開設
昭和 43年 (1968)	6月 1日	エンゼル保育所開設
昭和 48年 (1973)	4月 1日	大原高等看護学院 (大原看護専門学校) 開設
平成 2年 (1990)	8月 8日	大原医療センター開設
平成 7年 (1995)	5月 8日	大原健康クリニック (健診予防センター) 開設
平成 9年 (1997)	7月 1日	大原訪問看護ステーション開設
平成 24年 (2012)	1月 1日	財団新理念制定「人を愛し、病を究める」
平成 28年 (2016)	4月 1日	一般財団法人大原記念財団へ名称変更
平成 29年 (2017)	5月 1日	大原医療センターへ回復期リハビリテーション病棟開設
平成 30年 (2018)	1月 1日	大原綜合病院新病院棟開院 大原医療センター回復期病院へ転換
	10月 1日	大原訪問看護ステーション サテライト開設
令和 元年 (2019)	6月 29日	佐藤勝彦氏が第7代理事長就任
令和 3年 (2021)	4月 1日	大原医療センター 3病棟体制でグランドオープン
令和 6年 (2024)	5月 20日	大原ワクチンセンター開設
	4月 30日	清水病院閉院
令和 7年 (2025)	5月 1日	大原医療センター メンタルケアセンターオープン



明治32年頃の大原医院正門



大原八郎博士頌徳碑



大原記念財団理念の書

ご挨拶

一般財団法人大原記念財団 理事長兼統括院長 佐藤勝彦

地域包括ケアシステム構築が推進されているなか、大原記念財団は率先して病床機能や病床数を見直しして再編を進めてきました。2018年1月から大原綜合病院は急性期機能を集約して新病棟となり、同時に大原医療センターは回復期病院としてリスタートしました。2024年5月には大原綜合病院健診予防センター内に大原ワクチンセンターを開設しました。さらに、2025年5月には精神科の清水病院を移転させ大原医療センターに統合し、精神科「しみずの杜病棟」を新設してメンタルケアセンターを開設しました。これにより大原医療センターはリハビリ医療に加えてメンタルケアの心身両面からのリエゾン医療を提供できるようになりました。今後の大原記念財団の医療提供体制は、大原綜合病院と大原医療センターの2極体制に集約され、健診予防センターや訪問看護ステーションを加えて、予防医療から急性期医療、精神科を併設した回復期医療、そして在宅医療まで、地域密着型で医療全般にわたる医療を提供いたします。

2024年4月から医師の働き方改革が始まり、時間外労働の上限規制が設けられたことから、職員の処遇改善を目的に完全週休2日制を導入しました。これからは医療のIT化を促進し、業務の効率化を図ることで医療の質を高め、休日夜間の救急医療にも支障をきたさない体制を構築しながら、二人主治医制を掲げて地域の先生方との連携診療に尽力していく所存です。



一般財団法人大原記念財団
理事長兼統括院長

佐藤 勝彦

令和 7年 (2025) 9月

守る

急性期からリハビリ・精神・在宅復帰まで
大原グループ全体で地域をサポートします



大原総合病院

開院：明治25年(1892) 1月10日
財団設立：昭和27年(1952) 12月16日

敷地面積6,192.15㎡、建築面積3,898.47㎡、
延床面積26,256.82㎡／鉄骨造(免震構造)／
地上10階建

専門医療や二次救急医療を担う急性期に特化した地域医療支援病院です。病院は免震構造で、屋上にはヘリポートを設け広域医療や災害医療にも対応しています。地域周産期母子医療センターとしての機能も有しており「子どもと女性に優しい医療の提供」を目指すとともに、各専門医療機能をセンター化して多職種でチーム医療の提供を行っています。

フロアのご案内

1F 【受付・専門外来・画像診断センター】

- 総合案内 ●総合受付 ●総合患者支援センター(地域医療生活連携室・入院支援室・患者相談窓口)
- 再来受付機 ●処方せんFAXコーナー ●駐車場自動精算機 ●医事課 ●売店 ●カフェ
- 銀行ATM ●大原訪問看護ステーション サテライト
- 整形外科 ●脊椎外科 ●脳神経外科 ●リハビリテーション科 ●外傷センター ●脊椎センター
- 救急/時間外受付 ●総合救急センター ●画像診断センター ●MRI室 ●CT室
- 循環器センター(血管造影室)／X線透視室 ●一般撮影室／結石破砕室／骨密度室

2F 【一般外来・専門外来】

- 内科 ●糖尿病内科 ●呼吸器内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●腎臓内科 ●脳神経内科
- 総合診療科 ●外科 ●甲状腺科 ●呼吸器外科 ●形成外科 ●心臓血管外科 ●心療内科・精神科
- 泌尿器科 ●眼科 ●小児科 ●小児外科 ●耳鼻咽喉科 ●頭頸部外科 ●歯科口腔外科
- 中央採血室 ●採尿室 ●生理機能検査室 ●中央処置室 ●内視鏡センター

3F ●人工透析センター ●化学療法センター

- 健診予防センター・大原ワクチンセンター ●乳腺外科

4F ●手術・麻酔センター ●家族待合室

- 集中治療センター(HCU) ●麻酔科
- リハビリテーションセンター ●臨床工学科
- 病理診断センター(病理診断科)

5F ●レストラン・講堂・会議室 ●管理部門 ●医局

- 総合臨床研修センター

6F <レディースセンター>

- 産婦人科 ●レディース病棟(42床) ●デイルーム
- <こどもセンター>
- 小児病棟(20床) ●NICU(9床) ●わくわくルーム

7F～9F(病棟)



9F特別個室

許可病床数 / 347床

各種認定 / 地域医療支援病院・日本医療機能評価認定病院(3rdG:Ver2.0)・
二次救急指定病院(365日救急)・

地域周産期母子医療センター・医師臨床研修指定病院

開放型病院…当院の施設・設備は開放型登録医に開放されており、ベッド利用や検査を
共同で行うことができます。開放型登録医は、入院中の患者さまの診療を必要に応じて、
当院の医師と共同で行うことができます。



2F外来フロア



3F人工透析センター



4F手術室



6Fこどもセンター

大原総合病院 健診予防センター・大原ワクチンセンター

健診予防センターは総合健診・人間ドックの専門施設です。

最新機器による本格的健診と専任ドクターの適切な指導が受けられる、
健康維持のパートナーです。協会けんぽ、企業等健診も実施しています。
大原ワクチンセンターは予防接種を行います。

【メニュー】1日ドック、2日ドック、PETがん検診、骨粗鬆症検査(オプション) 等
【レディースデー】毎月第2・第4火曜日 女性専用健診日



大原医療センター

【開設：平成2年(1990)8月8日】

【メンタルケアセンター開設：令和7年(2025)5月1日】

- 【診療科】●内科 ●整形外科
●リハビリテーション科
●精神科 ●心療内科

許可病床数 / 199床

全国で初めての、こころの治療を兼ね備えた総合回復期病院です。

地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟で運営してまいりましたが、令和7年5月に旧清水病院と統合し、精神科と心療内科を加え診療しています。

地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟では、日常生活動作(ADL)を可能な限り速やかに改善し、自宅退院できるようサポートしています。また、急性期の大原総合病院と回復期の大原医療センターが両輪一体となり地域医療の充実に努めます。

旧清水病院は、メンタルケアセンターとして開設し、精神科病棟を「しみずの杜病棟」として60床を備えています。他に外来診察室を3室、精神科デイケア「陽だまり」を外来の方かいに設置し、幅広く対応しています。



フロアのご案内

1F 【外来】●内科・整形外科・救急 ●心電図室 ●薬剤科 ●レントゲン室 ●栄養指導室
●地域連携相談室 ●事務室 ●売店
【メンタルケアセンター】(担当診療科：精神科・心療内科)
●しみずの杜病棟 ●精神科・心療内科 ●デイケア「陽だまり」

2F ●臨床検査科 ●医局 ●大原訪問看護ステーション ●図書室 ●会議室

3F 【総合リハビリテーションセンター】●リハビリ室 ●言語聴覚療法室

4F 【回復期リハビリテーション病棟】(担当診療科：リハビリテーション科)
●病室 ●談話室 ●ナースステーション

5F 【回復期リハビリテーション病棟】(担当診療科：リハビリテーション科)
●病室 ●談話室・リハビリ訓練コーナー ●ナースステーション

6F 【地域包括ケア病棟】(担当診療科：内科)●病室 ●談話室 ●ナースステーション

大原医療センター メンタルケアセンター

「地域・社会全体で精神障がい者を支える」の方針のもと、メンタルケアセンターを立ち上げ、入院・外来治療・デイケアなどを行い、地域精神医療を展開しています。

さらに、大原医療センター回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟に入院中の患者さんのメンタルサポートにも取り組み、こころと身体の両面にわたり統合した回復期医療を実践しています。



しみずの杜病棟 デイルーム



しみずの杜病棟 作業療法室



デイケア「陽だまり」

大原看護専門学校

【開校：昭和48年(1973)4月1日(大原高等看護学院)】

Life・Light・Loveの3つの「L」を基本理念に、主体的に学び行動することのできる専門職業人としての基礎的資質を身につけるとともに、調和のとれた看護師を育成しています。



大原訪問看護ステーション

【開設：平成9年(1997)7月1日】

利用者さまが安心して在宅療養を継続し、ご家族の負担が軽減され、満足の得られる介護ができるように、主治医の指示のもと、医療、看護上の指導および援助を目的として24時間の訪問看護サービスを提供しています。



エンゼル保育所

【開設：昭和43年(1968)6月1日】

職員の子どもを預かる保育所です。ご家族との連絡を大切に、保護者との信頼関係を築き、子育てを支えています。何事にも意欲的に取り組み、快活で粘り強く、いきいき輝いている子ども像を目指して運営しています。



支える

「子どもと女性に優しい医療」を提供します

専門から救急、そして

子ども医療

小児医療の基幹病院として (大原綜合病院)



周産期医療

小さいのちを守りたい (大原綜合病院)



「子どもと女性に優しい医療」を目指す大原綜合病院は、地域周産期母子医療センターとして小児科と産婦人科が連携し、また必要に応じて他科も協働して周産期に係る高度な治療行為を行っています。

同一のフロアに、新生児集中治療室(NICU)・小児病棟「こどもセンター」と産婦人科外来・病棟「レディースセンター」を配置し、集中治療を必要とする低出生体重児や病的新生児から一般小児の入院加療、婦人科疾患やハイリスク分娩まで広く対応しています。

回復期医療 (大原医療センター)

回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟を設け、急性期の治療を終えて症状が安定した患者さまを受け入れ、リハビリなどを実施することで在宅復帰までの支援をしています。



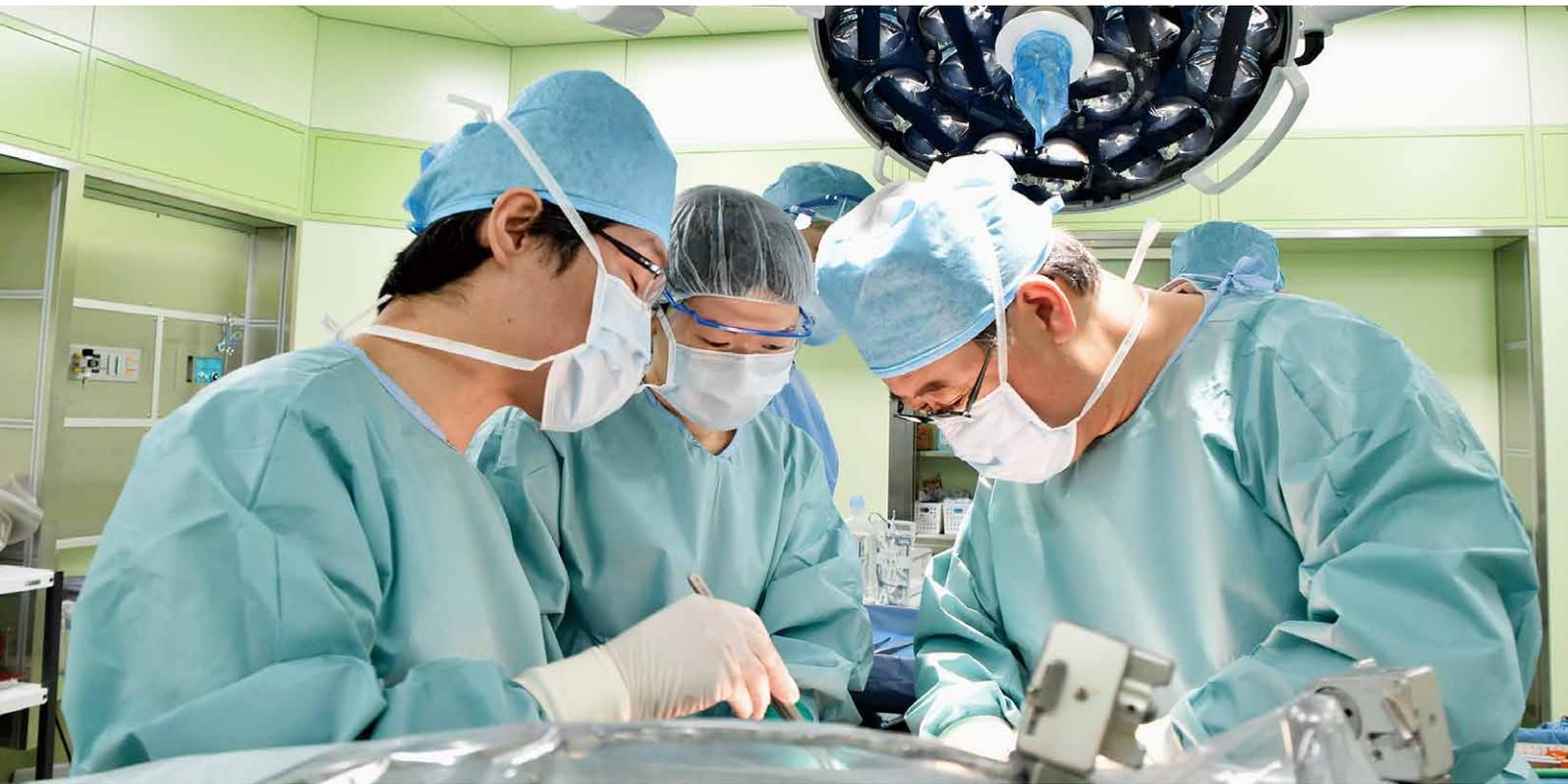
精神医療 (メンタルケアセンター)

「入院生活に潤いを!」「患者さまの笑顔が見たいから!」をテーマに毎年開催されているクリスマス会の様子です。他にも年間を通して多彩なイベントを行っています。また、地域介護施設やグループホームと連携を図り、早期地域移行の支援に努めています。



専門医療

効率的で質の高い医療を提供 (大原綜合病院)



救急医療

広域災害医療にも対応 (大原綜合病院)



二次救急指定病院として「365日、24時間断らない救急」を目標に掲げています。

東日本大震災の経験から新病院棟の建物は免震構造とし、屋上には広域的な対応や災害時にも対応できるヘリポートを設置しています。またより専門的な医療を提供するため各センターを設け、各診療科が連携し合いセンターをバックアップしています。



在宅医療

(大原訪問看護ステーション)

住み慣れた自宅で療養生活が送れるように医師や理学療法士による訪問リハビリテーション、ケアマネジャーなどと連携し、子どもから高齢者まで、そして予防から医療依存度の高い方、在宅ホスピスまで切れ目のない訪問看護を提供しています。



予防医療

(健診予防センター)

最新機器による本格的健診と専任ドクターの適切な指導が受けられる健康管理部門です。健診やドックの結果により万が一、二次検診が必要となった場合にも当院の診療部門と直結しているため、早期の精密検査や治療が可能です。



県北地域の基幹病院として
地域医療機関や市民の皆さまと連携します



災害派遣医療チーム DMAT



地域の救急医療体制では対応できない大規模災害や事故などの現場に急行する「災害派遣医療チーム (DMAT)」を整えています。メンバーは医師、看護師やその他のコメディカル・事務員等で構成され、各地の被災地支援に駆け付け、活躍しています。

地域医療支援病院

福島県承認の「地域医療支援病院」である大原総合病院では、国や福島県の政策に基づき地域の“かかりつけ医”との役割を明確にし、協力し合っ
て質の高い医療を提供するため「ふたり主治医制」を推進しています。

また、かかりつけ医との連携を円滑にするため、「登録医制度」を設け430名以上の先生方と連携を図っています。





各種講座や体験活動を通じた 地域のコミュニケーション

医療実習・中高生の体験活動の受け入れ

看護師や薬剤師、セラピスト、管理栄養士、臨床検査技師等の専門資格を目指す学生の実習受け入れを積極的に行っています。医療の最前線で働くスタッフと触れあうことで、仕事のやりがい、厳しさ、楽しさなどを直接感じてもらい、将来の夢実現の支援をしています。

- 医学教室 (中学生対象)
- 中学生ドリームアップ事業 (職場体験)
- 高校生一日看護体験



大原けんこう講座

一般の方を対象に、病気や治療、予防法などを医師やコメディカルが専門分野ごとに分かりやすく説明する市民公開講座です (定期開催・入場無料)。開催のお知らせは院内掲示、ホームページ等で行っています。



院内コンサート

毎年数回、入院患者さまとご家族へ癒しのひとときをお届けするコンサートです。出演者は演奏家の方をはじめ、地元の音楽関連団体、ボランティア、大原スタッフなど、様々な方々にご協力いただいています。



わらじまつり

福島市の夏の伝統行事「福島わらじまつり」に毎年200名以上で参加し、地域の皆さまと育んできたつながりや信頼関係を大切にしながら伝統文化を発信し、福島の復興に貢献しています。



育てる

質の高い専門医療と人材の育成で
地域に安心安全な医療を提供します



教育システム

臨床研修医の教育

地域で活躍できる医師の育成



基幹型臨床研修病院として、平成17(2005)年度より多くの研修医を受け入れています。熱心な上級医の指導のもと、医師として必要な基本的診療能力を身につけ、日常診療で頻繁に関わる疾病や救急診療にも適切に対応できる、現場力のある医師を育成しています。

看護師の育成

実習受け入れ・奨学金制度



看護学生の実習施設として、将来の看護師、助産師、保健師を育成するとともに財団独自の奨学金制度を完備しています。大原看護専門学校は、専門職業人としての基礎的資質を身につけるとともに、調和のとれた看護師を育成しています。

TQM活動

患者さまへ良質な医療を提供し続けるために、病院全体でTQM活動(Total Quality Management・医療の改善活動)に取り組んでいます。



高度専門医療

高度な専門医療で皆さまに信頼していただける質の高い医療を提供しています。

CT装置 (Aquilion ONE / INSIGHT Edition)



O-arm・ナビゲーション



MRI装置 (Ingenia 3.0T)



前立腺肥大・尿路結石砕石手術装置 (Cyber Ho120W ホルミウムヤグレーザー)



白内障手術装置 (CENTURION ActiveSentry)



血管造影装置 (Azurion 7B20/15)



健診予防センターのご案内

(大原総合病院3F)

完全予約制で安心して受診できます。お電話にてご予約ください。

TEL 024-523-1120 平日 8:00 ~ 16:30 土曜 8:00 ~ 12:30 (第1・第3週)

【健診項目】

- 人間ドック (1日コース・2日コース)
- 一般健診
- 生活習慣病予防健診
- 頭部MRI・MRA検査
- 胸部CT検査
- ★ レディースデー 毎月第2・第4火曜

【人間ドック料金表】(税込)

一部の検査を除き、後日、医師が検査結果説明を行います。

1日コース	41,800円
1日コース (婦人科検診を含む)	44,000円
2日コース (ご通院)	59,400円

※胃内視鏡受診の場合 追加料金 5,500円(税込)

【1日コース検査項目】 ※2日コースは●が追加となります

- 診察、身体測定、血圧測定 ○ 眼科検査 ○ 聴力検査 ○ 尿検査 ○ 血液検査 ○ 循環器検査 ○ 呼吸器検査
- 消化器検査 ○ 乳がん検診 (女性のみ) ○ 子宮がん検診 (女性のみ)
- 体脂肪率 ● 前立腺超音波検査 (男性のみ) ● 骨塩定量 (骨密度) 検査 ● 喀痰細胞診検査 (肺がん)

※その他各種オプション検査も実施しています

令和7年(2025)9月現在



大原綜合病院

〒960-8611 福島県福島市上町 6-1
TEL024-526-0300(代) FAX024-526-0342

- **総合患者支援センター**
地域医療生活連携室 (大原綜合病院 1 階)
TEL024-526-0371(代) FAX024-526-0395
- **健診予防センター** (大原綜合病院 3 階)
TEL024-523-1120

大原医療センター

〒960-0102 福島県福島市鎌田字中江 33
TEL024-554-2001(代) FAX024-554-2014

- **地域医療連携室** (大原医療センター内)
TEL024-554-2417 FAX024-554-2436

大原訪問看護ステーション

(本 部)
〒960-0102 福島県福島市鎌田字中江 33 (大原医療センター内)
TEL024-573-8210 FAX024-573-8202

(サテライト上町)
〒960-8611 福島県福島市上町 6-1 (大原綜合病院内)

大原看護専門学校

〒960-0102 福島県福島市鎌田字原原 7-3
TEL024-553-9964 FAX024-553-9967

エンゼル保育所

〒960-8101 福島県福島市上町 5-6 上町テラス 4 階
TEL024-526-0330



上町まちなかパーキング

- 立体駐車場 419 台
- 24 時間営業



福島市上町 (大原綜合病院北側)

大町まちなかパーキング

- 平面駐車場 144 台
- 24 時間営業



福島市大町 (旧大原綜合病院跡地)



一般財団法人
大原記念財団

〒960-8611 福島県福島市上町 6-1 (大原綜合病院内)
TEL024-526-0300(代) FAX024-526-0342

大原記念財団ホームページ

大原綜合病院をはじめ、グループの施設の
全ての情報を見ることができます。
<https://www.ohara-hp.or.jp>



大原記念財団 **facebook**

地域の皆さまとの交流や各施設の取組、
活動報告など随時アップ!
<https://www.facebook.com/oharahp/>

